

中学校（1年生）  
3月  
現実に目を向ける

一人一人の感想や印象を自由に表現する場を作る。それにより、活動全体に対する振り返りを行い、気づいたことを確認し、共有する。また、より現実的な課題について考える機会とする。

活動の実際

<AHA体験> 手のひらボールペン	
準備物	ボールペン（長いものなら何でもよい）
活 動 内 容	支 援 及 び 留 意 点
①両の手のひらを合わせて、親指の付け根にボールペンをはさむ。 ②手のひらをこすり合わせるように回す。 ③ボールペンが両手の内に収まっている。	○実際にやりながら、やり方をまねてもらう。  ○よく見ると、ボールペン向きが変わっている。
<発展> ○両手の内に収まった人は、元に戻して、両手のひらを合わせてみる。	
<ふりかえりの視点> ○なかなかできない時、どんな行動を起こした？ ○うまくできた時、どんな行動を起こした？	
<比喩（メタファー）> ○「まねる」ということの大切さに気づく。	

宇宙人の卵	
課 題	宇宙人の卵を危険のない状態にすること。
準備物	各組に、ゴルフボール、新聞紙、セロテープ（150cm程度）
活 動 内 容	支 援 及 び 留 意 点
①5人組になる。 ②「宇宙人の卵（ゴルフボール）を塔（新聞紙）の上に乗せ、高さ50cm以上で維持しないと、未知の伝染病が広がってしまいます。」 ③各グループができあがったら、1つずつ他のグループの4人は吹いてみる。 ④風速4mの突風（4人で吹く）に耐えられれば成功。	○グループによっていろいろな塔ができあがる。 ○セロテープ、新聞紙は追加しないので、始めによく作戦を立てる。 ○不成功の場合、再挑戦させるかどうか。
<ふりかえりの視点> ○ どうやって作戦を決めた？ ○ 自分はどんなふうにかかわった？	



## サンクス

準備物	なし	
活 動 内 容	支 援 及 び 留 意 点	
①活動について、いろいろな場面を思い出す。 ②その中で一人一人に対して感謝したいことを考える。 ③指導者が例示する。 ④初めの1人が全員に対して言っていく。 ⑤1人ずつ順に言っていく。	○学級で1年間の最後に行く。 ○感謝することがすぐ思い浮かぶような学級づくりを心掛ける。 ○他人の自分に対する評価を聞くことによって、自己評価が高まる。 ○10人なら、 $10 \times 9 = 90$ 回の発言となる。	
<発展> ○感謝したいことを紙に書いて渡す。 ○1人の人にスポットをあて、その人に対して他の全員が感謝したいことを言う。		
<ねらい> ○他者の指摘によって、自分のいい所を見つけること。		



## ふりかえり

準備物	玉、箱	
活 動 内 容	支 援 及 び 留 意 点	
①1人1人が、1年の初めに学級がうまくいくために必要だと感じたことを再確認する。 ②箱を回し、1人が1つずつ玉を取っていく。 ③今後大切にしたいことを言いながら、玉を箱に入れていく。 ④言い終わったら、次に回す。 ⑤全員が終了したら、再び箱を回す。	○目標づくりやルールづくりで作った物を見ながら、思い出す。 ○玉はボールでも、木の実でも、ビー玉でもよい。箱の大きさも自由。 ○「共有する」ための作業である。	
<発展> ○箱をそれぞれの両足を使って回す。 ○箱をそれぞれの片足を使って回す。		
<ねらい> ○この1年間で達成できたこととできなかったことをふりかえり、これからの自分の生活に生かしていく。		



## 現実課題検討

課題解決活動を通して得られたことをどう日常生活に生かしていくかを話し合う。また、現実に存在する課題を取り上げ、その解決方法を検討し、来年度の方向性を探る。